**令和６年　７月19日**

**都立中野特別支援学校**

**第　２　号**

**校長　和田　慎也**

**担当 玉野　　希**

**進路だより**

|  |
| --- |
| **【専任より】**  先月の「保護者向け進路研修会」では、４年ぶりの対面形式で実施いたしました。講師の話の後の質疑応答では、様々な御意見や御質問をいただき、講師と直接的なやり取りをすることができました。改めて、対面開催の良さを感じたところです。当日、御参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。  高等部では、進路行事の１つとして、校外における実習を実施しています。１学期、高等部２年生の生徒は、同級生２～３名のグループに教員が付き添って２日間の実習（ミニ実習）を、高等部３年生の生徒は、一人で（生活介護での実習は教員が引率することもあります）３～10日間の実習（現場実習）を行いました。生徒たちは、緊張しながらも、それぞれの場所で仕事や活動することができました。実習の成功体験から、「ここで働きたい」「ここに行きたい」と強い希望をもつようになった生徒もいました。その意味では、実習という校外における仕事や活動の機会は、彼らを大きく成長させる場となっています。  その一方で、実習に臨む生徒たちは、学校でも起こり得るちょっとした事がきっかけで、不安定になり、そのことが起因となって「失敗した」と思い込むようになり、実習に対して負のイメージをもつこともあります。気持ちを安定させて実習に臨めるよう、毎日の生活リズムを整え、落ち着いた気持ちで生活することは、生徒たち本人の役割ですが、彼らだけで難しいことは御家庭のサポートが必要不可欠となります。  当該学年の保護者の皆様には、実習前の準備や生徒本人の健康管理、当日の昼食準備、実習期間中の巡回（現場実習のみ）に至るまで、実習への御協力に感謝いたします。改めて、秋以降の実習に向けて、実習に対する御家庭の意識のもち方、御家庭のサポートのあり方を見直していただければ幸いです。（田邉　大樹） |

|  |
| --- |
| **【専任より】**  １学期も本校進路指導への御理解・御協力をいただきまして、ありがとうございました。  今年度の「保護者向け進路研修会」では、自治体ごとに障害福祉課の方に本校へお越しいただき、「各区における障害者福祉の現状」についてお話をいただきました。本号では研修会で話題にあがりました障害者福祉の課題、そして、在学中に取り組めることを共有できればと思います。  ・多くの福祉施設が送迎ドライバー不足により送迎範囲が限定される、また送迎自体できないことが  ある。  ・23区内の土地代が高いため新しい福祉施設を建てることが難しくなっている。  ・卒業後、放課後等デイサービスに代わるサービスが現時点では、ほとんどない。  様々な課題がありますが、学生である今のうちに取り組むことで対策を立てておくことは十分可能です。一人で余暇を過ごせる、家の留守番ができる、公共交通機関を一人で利用できるといった取り組みが、今後のお子さんの進路選択の幅を広げてくれるはずです。何からすれば分からない、という方に関しましては、まずは「相談」です。職員室お立ち寄りの際は、是非お気軽にお声掛けください。　(江川　拓郎) |

|  |
| --- |
| **【小学部】**  小学部１～４年生は遠足へ、５・６年生は６月27日・28日に移動教室へ行きました。日々の学習の積み重ねや事前学習を通して、各学年が段階的に校外活動に取り組む準備をし、当日を迎えました。特に、自宅を離れて１泊２日集団での生活を経験した５・６年生は、宿泊に向けて「自分でできることを増やす」ことも意識しながら、入浴や布団敷きの学習にも取り組みました。校外での集団行動や公共施設、交通機関の利用など、一つ一つの経験は将来的な「自立」に向けた一歩になるとともに、子どもたちの自信につながっていくと思います。御御家庭でも行事に向けた準備等に御協力いただき、ありがとうございました。  さて、明日から夏休みが始まります。御御家庭で過ごす時間が長くなるこの機会に、「お手伝い」を習慣化してみてはいかがでしょうか。役割を担い、毎日続けることで達成感を得たり、持続力や生活力を養ったりすることができます。既に習慣化している御御家庭も、これから始めようと考えている御御家庭も、この機会に無理なくできる内容やペースで、まずは１つから、取り組んでみてください。　　　（中山　里奈） |

|  |
| --- |
| **【中学部】**  東中野に校舎が移転するに伴い、学校への通学ルートについて、保護者の方とよく相談するようになりました。現校舎への一人通学が確立していたけど、新たに公共交通機関を利用することになったり、近くなったから徒歩で通学できるようになったり、と様々です。いずれの場合も、来年度になって急に取り組み始めることは難しいと思いますので、この長期休みを利用して、御家族でルートを確認しながら歩いてみてはいかがでしょうか。自分で行きたい場所を考える、休日の予定を立てる、必要なお金を稼いだり貯めたりする、など余暇が充実する第一歩として公共交通機関等を利用した移動の幅を広げていければと思います。  　中学部は２学期になると就業体験が始まります。１年生は「ふらっとなかの」、２年生は「弥生福祉作業所」を訪問、見学し、２年生は簡単な作業も体験する予定です。決められた作業に取り組み、分からないことを自分から質問する、などを学習していきます。３年生は高等部の作業学習の様子を見学したり、高等部入学に向けた心構えなどを進路指導主任から学習したりする予定です。  　（石田　直暉、玉野　希） |

|  |
| --- |
| **【高等部１年】**  進路希望調査アンケートのご回答、ありがとうございました。このアンケートをもとに２学期の職場見学と３学期のミニ実習を計画していきます。２学期からは１年生も進路に向けた学習がいよいよ本格的にスタートします。ぜひ、この夏休みを使って、進路先の情報収集をお願いいたします。「自宅から一番近いところは？」「どんな仕事があるのか？」など、まずは生徒本人にとって分かりやすい視点で生徒本人と一緒に探してみるのも、良いかもしれません。長い夏休みの中で、御家庭での話題の１つとして、取り上げていただければと思います。  (久野　智宏、久保　志穂) |

|  |
| --- |
| **【高等部２年】**  ６月６日（木）には、高等部での初めての実習に向け、「株式会社パソナハートフル」及び「中野区障害者福祉事業団」の方を講師としてお招きし、『ビジネスマナー講座』を開催しました。当初、接点のない外部の方からのお話に表情が硬かった生徒達ですが、ロールプレイで挨拶の練習をしたり、クイズ形式で望ましい身だしなみを学習したりと、参加型の講座内容に少しずつ打ち解け、和やかな会となりました。  また、６月から７月にかけて、教員の引率のもと２日間のミニ実習が行われました。１年生の終わりに提出いただいた「進路希望アンケート」をもとに調整された実習先は、場所、仕事、周囲の方々、雰囲気など初めての環境に囲まれながらの就業体験でした。当然、緊張もしたと思いますが、勇気を出して乗り越えた分、どこかたくましい表情になって学校に戻ってくることができました。２学期以降の現場実習に向けて、自己の強みを理解し、課題に立ち向かうことで、更に成長することを願っております。  　　　（長谷川　弘樹、宗形　秀人） |

|  |
| --- |
| **【高等部３年】**  生徒一人一人ここまでの高校生活で様々な経験を積み重ね、自分の興味や、働いて稼いだお金で将来やりたいこと、買いたいものなど、話をしている様子を見受けることがあります。「働くとは何なのか」を少しずつ理解しながら前に進んでいるのかなと思います。実習を重ね、生徒は自己成長を感じているのではないでしょうか。また、御家庭でも普段と違ったお子様の一面が見られたのではないでしょうか。  ３年生にとって、現場実習そのものが卒業後の進路先を決める大切な取り組みとなります。保護者の皆様には、事前面接に送迎、見学や振り返り、そして進路面談に貴重な時間を割いていただき、誠にありがとうございます。また、御家庭によっては、朝早くからのお弁当作りに御協力ありがとうございました。  進路選択には、様々な選択肢があります。生徒一人一人がそれぞれの選択肢を保護者の皆様と一緒に考え、十分に考慮し、将来の可能性を最大限に広げていきましょう。  ８か月後の卒業式。生徒一人一人が胸を張って歩く姿を想像しながら、御家庭と学校が協力して進路指導を行っていきたいと思いますので、今後とも何とぞよろしくお願いいたします。 (小暮　亮介、本橋　剛) |

**１　生活介護**

**・アート活動を推進し、個々の感性を生かした表現活動や創作活動に取り組む。また、成果を発表する機会として、作品展の開催や生産・販売活動につなげていく。**

**・リフト対応の浴室を設置する。御御家庭の事情を勘案し、必要に応じて個別プログラムの１つとして入浴支援を行う。**

**・定期的にグループホームとの交流を行い、利用者、職員相互の関係を築くことにより、安心して短期入所を利用できるようにする。**

**２　共同生活援助**

**・令和７年４月頃より、見学、面談、体験を経て、区と協議の上、決定する。**

**３　短期入所**

**・共同生活援助の利用者が落ち着いて生活できるようになってから開始予定。**

**施設名：（仮称）くがやま生活園**

**運営法人：社会福祉法人　恩賜財団　東京都同胞援護会**

**所在地：杉並区久我山１丁目８番**

**事業内容：生活介護　40名**

**共同生活援助10名（２ユニット　男性５名、女性５名）**

**短期入所２名（男性１名、女性１名）**

**杉並区の新施設情報！**

**施設名：クリエイターズラボ東京**

**運営法人：一般社団法人障害者就労サポートグリーンライツ**

**所在地：新宿区天神町22-3ルート神楽坂ビル3階**

**事業内容：就労継続支援Ｂ型事業所**

**電話：080-5777-6258**

**URL:** **https://www.greenlights.tokyo/**

**内容：映像・デザイン・楽曲制作**

**プログラム特色**

**・映像・デザイン・楽曲制作が未経験でも自分の学習段階に合わせた指導を受けることが可能。**

**・生活支援スタッフがおり、悩みや課題などをいつでも相談できる体制が整っている。**

**・様々なジャンルの講師陣からの勉強会や講習会を定期的に実施している。**

**新宿区に新しい就労継続支援Ｂ型事業所ができました！**